

みんなが主役！
ごみ減量



町田市からのお知らせ

ごみ資源化施設建設 NEWS

広報紙「ごみ資源化施設建設NEWS」では、新たな「ごみの資源化施設」に関する情報をみなさまにお届けします。

Vol.36

発行日：2024年10月31日

発行：町田市環境資源部

問合せ：循環型施設整備課

住所：町田市森野2-2-22

電話：042-724-4384

整備工事が完了しました

町田市バイオエネルギーセンター（愛称名：バイエネ君）は2017年7月に工事着手し、2022年1月の稼働開始後も工事を継続していましたが、2024年9月いっぱいで整備工事が完了いたしました。

7年2ヶ月の長きにわたり行われてきた工事になりますが、周辺住民の方々をはじめ、関係方々のご協力により無事に完了にいたりましたことを感謝申し上げます。

今号では、この度完成した部分（2022年1月以降行っていた工事の範囲）のご紹介をします。



2017年7月撮影

町田リサイクル文化センター
（工事着手前）

全体ではこんなに変わったんだのん！

裏面ではこの度工事が完了した部分について、もっと詳しくご紹介するのん！

町田市エコキャラクター

ハスののん



7年と2ヶ月をかけて
こんなに変わりました



2024年9月撮影

町田市バイオエネルギーセンター
（工事完了後）

2022年1月以降の工事について

バイエネ君は2022年1月から旧町田リサイクル文化センターに代わり、町田市内で回収されたごみの処理を行っています。

しかしながら、役目を終えた旧町田リサイクル文化センターの解体や、その解体跡地の整備工事を2024年9月いっぱいまで行っていました。

旧町田リサイクル文化センター跡地の整備内容

この度、新規に整備したのは、『緑地』『ビオトープ』『ストックヤード棟』『庁用車駐車場』（及びこれらに関連する敷地内通路等）です。これらは市民のみなさまにはなかなかお目にかからない場所になりますので、この機会に各々について写真と共にご紹介します。



◀【緑地】

新施設整備により喪失した緑地を回復することを目的に整備しています。シラカシやコナラ、ヤブツバキ、ミズキ、マンリョウ、ヤマツツジなど、高木から低木までのいろいろな樹種を植栽した樹林ゾーンと、ススキ、チガヤ、メヒシバなどの植物で草地を形成するゾーンからなります。



▲【ビオトープ】

緑地同様に、新施設整備により喪失した池（通称：ジャブジャブ池）の回復を目的に、古い煙突跡を利用して整備したものです。旧ジャブジャブ池に生息していたメダカやマルタニシ、エビモなどの動植物を移植しました。

町田リサイクル文化センターの跡地がこんなにキレイに変わっていてビックリしたのん！

緑地やビオトープを整備して自然環境回復に貢献だのん！



◀【庁用車駐車場】
ごみ収集車（パッカー車）など、施設運営に
関係する車両の駐車場
です。



◀【ストックヤード棟】
ごみの中から取り出した鉄やアルミなど、資源として再利用できるものなどを、一時的に貯留する施設です。

充電式小型家電を有害ごみの日（毎月2回目のビン・カン収集日）に有害ごみ（電池）のかごに出せるようになりました。

充電式電池を内蔵したこれらのものは・・・



有害ごみかごへ！



詳細はHPでご確認ください！

町田市 充電式小型家電

検索

充電式小型家電とは、充電電池が取り外せない小型家電（30cm×30cm×15cm以内のサイズ）のことをいいます。

・小型家電回収ボックス ・リサイクル広場

これらでの回収も引き続きご利用ください。



小型家電回収について リサイクル広場について



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。